

令和3年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・ 器具を使った投力を伸ばすための運動遊びや体づくり運動を取り入れたことで、投げるフォームが整ったり、距離が伸びたりした。

(2) 課 題

- ・ 昨年度の休校の影響で体力の低下が多く見られる。
- ・ 器械・器具を取り入れたり、補助的な動きを授業の始めに取り入れたりして、基本的な動きが身に付けられるようにする。
- ・ 友達との関わりの中で課題を見付けたり、解決したりするために活動の場を工夫する。
- ・ 自身の課題を認識したり解決したりできるよう、学習カードやICT 機器を効果的に活用する。

2 授業改善のポイント

- ・ 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 密を避けながら場の設定を工夫し、一人一人の運動量を十分確保する。また、体全体を使う運動や器械・器具を使う運動など様々な運動遊びを取り入れ、基礎基本の定着と体力の向上を図る。(1年)	・ 安全に楽しく活動できるように正しい運動の仕方やルールを守ることの大切さを繰り返し指導する。また、友達のような動きを見つけられるように、場の設定を工夫するとともに、良い動きのポイントを確認するようにする。(1年)	・ 体を動かす楽しさを味わい、意欲的に活動できるように、めあてをしっかりとめさせる。また、楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選べるようにする。(1年)
・ 基本的な動きを身に付け、体力を養う。特に、投力や握力、跳力や腹筋の弱い児童やボールの扱いに慣れていない児童が多いので、スキルアップタイムを設定し、強化する運動遊びを継続して取り入れ、楽しみながら体力や技能が伸びるようにする。また、運動量を十分に確保する。(2年)	・ めあてをもって運動に取り組むことができるようにワークシートなども活用して、成果を自己評価できるようにする。 ・ 運動を楽しむための仕方や競争のルールを実態に合わせて工夫する。 ・ 遊び方を選んだり、友達のような動きを見つけたりできるように、場の設定やグループを工夫する。(2年)	・ 関心をもって取り組めるような運動の場の設定(用具・場所等)やグループを工夫する。 ・ 多様な運動例を紹介し、休み時間にも遊びながら取り組めるようにする。 ・ 準備運動の中にいろいろな動きを取り入れ、継続的に行わせることで、できるようになった喜びを意欲につなげる。(2年)

・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みや給食の時間を活用し、規則正しい生活や体を健やかに成長させるために必要なことについて正しく理解できるようにする。(3年) - 基本的な動きや技能が身に付くように単元や一単位時間がスモールステップで流れるようにする。(4年)	- 学習カードを活用し、一人一人がめあてをもって学習に取り組み、振り返りができるようにする。用具の正しい使い方を理解し、使いこなせるようにする。(3年) - 学習カードを活用して、自己の課題を認識したり解決に向けての考えを表現したりできるようにする。(4年)	- 児童が体を動かす楽しさを味わうことができるように、運動の場の設定を工夫したり、主運動につながる補助運動を取り入れたりする。(3年) - 運動の場や運動場面を工夫して、協働的に運動したり最後まで粘り強く運動したりできるようにする。(4年)

・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けられるよう、主運動につながる補助運動を取り入れ、主運動にスムーズに取り組めるようにする。(5年) - 運動の特性に応じた技能を身に付けられるように、補助運動、感覚づくりの時間を設ける。(6年)	- グループやペアで活動する機会を設定し、自己やグループの課題解決のために活動を工夫したり、考えを伝えたりする時間を設ける。(5年) - ICTを取り入れ、自分の動きやチームの課題を視覚化し、課題をつかみやすくする。(6年)	- 運動の場や運動場面を工夫して、仲間の考えや取組を認めたり、最後まで粘り強く課題に対して取り組んだりできるようにする。(5年) - 今もっている力で学習が楽しめるよう単元計画を工夫し、「やってみたい」「できるようになりたい」という意欲と見通しがもてるようにする。(6年)

